

## ネイティブ牛カテプシンD

Cat. No. NATE-0171

Lot. No. (See product label)

### はじめに

**説明** カテプシンDは、乳がんの転移やアルツハイマー病に関与するエンドソーム-リソソームのアスパラギン酸プロテアーゼです。カテプシンDのリソソームからの放出は、アポトーシスを受けたヒト包皮線維芽細胞において、シトクロムcの放出と膜電位の喪失に先行することがわかっています。PC12細胞におけるカテプシンDのレベルは、アポトーシスが誘導された後、12から24時間で増加します。

**別名** CTSD; カテプシンD; 9025-26-7; EC 3.4.23.5; CLN10; CPSD; HEL-S-130P

### 製品情報

|         |                                                                              |
|---------|------------------------------------------------------------------------------|
| 種       | ウシの                                                                          |
| 由来      | 牛の脾臓                                                                         |
| 形態      | クエン酸緩衝塩を含む凍結乾燥粉末                                                             |
| EC番号    | EC 3.4.23.5                                                                  |
| CAS登録番号 | 9025-26-7                                                                    |
| 分子量     | 45 kDa                                                                       |
| 活性      | > 2.0 ユニット / mg タンパク質                                                        |
| 代謝経路    | 適免疫系、特定生物のバイオシステム; コラーゲン分解、特定生物のバイオシステム; リソソーム、特定生物のバイオシステム                  |
| 機能      | アスパラギン酸型エンドペプチダーゼ活性                                                          |
| 単位定義    | 1単位は、37°CでpH 3.0の条件下で、ヘモグロビンを基質としてTCA可溶性生成物を測定した場合、1 mLあたり1分間にA280を1.0増加させる。 |